

事業番号	10 04 02	事業改善シート（令和6年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	森林の適正管理及び保全に関する事業	部局	林務部	課・室	森林づくり推進課	
		実施期間	S27 ～	E-mail	shinrin @ pref.nagano.lg.jp	

1 現状と課題

・長野県全体で、約58万ヘクタールの森林が保安林に指定されており、公益的機能の発揮のために適正に管理、保全する必要がある。
 ・保安林以外の森林について、無秩序な開発を行うと土砂災害等の危険が高まるため、林地開発許可制度により適正な指導を行う必要がある。

2 事業目的

保安林及び林地開発許可制度に基づき森林を適正に管理することで、水源のかん養、土砂災害の防止といった公益的機能の維持増進を図る。

3 事業目的を達成するための取組

- ①保安林の適正な管理の実施
- ・保安林の指定、解除、指定施業要件の変更の手続きに必要な調査や所有者への通知を実施
 - ・新規保安林指定箇所に標識を設置
 - ・保安林の指定による損失を補償するため、損失補償額の調査を実施
 - ・保安林管理システムの保守の委託を行う
- ②林地における無秩序な開発の防止の徹底
- ・森林の無秩序な開発を防止するため、林地開発許可制度に基づく調査、指導等を実施

4 成果指標

(推移の凡例 ↗:改善 ↘:悪化 →:変化なし —:数値なし)

No.	指標名	単位	R4年度		R5年度		R6年度		R6年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移				
①	保安林の指定施業要件の変更箇所の面積	ha	8,019	7,176	↘	7,152	↘	5,000	達成	森林整備を推進するため、15年間で旧基準で制定された指定施業要件をすべて新基準に変更することを目標。	
②	林地開発許可制度に係る違反行為に対する監督処分件数	件	0	1	↘	0	↗	0	達成	森林を違法に伐採、開発することにより土砂災害等の危険性が高まるため、違反行為に対して事前には正措置等の対策を講じ、対策がなされない場合の森林法第10条の3の規定による法的措置件数0件を目標。	

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 (☆印が付いているものは主要目標)	単位	直近3か年の状況						目標	
				年/ 年度	数値	年/ 年度	数値	年/ 年度	数値	年/ 年度	数値
1-1③	良好な生活環境保全の推進										

6 事業コスト

(単位:千円、人)

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R6年度	0	41,463	0	41,463	12,423	33,660	15.0
R5年度	0	129,813	△ 9,900	119,913	88,086	116,657	15.0
R4年度	0	86,441	△ 34,533	51,908	25,281	41,583	15.0

事業番号	10 04 02	事業改善シート（令和6年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	森林の適正管理及び保全に関する事業		部局	林務部	課・室	森林づくり推進課

7 主な取組実績と成果

①保安林の適正な管理の実施

- ・会計年度任用職員延べ103月の雇用を行い、保安林指定施業要件の変更手続きに必要な調査の補助や書類の作成補助により、目標を4割上回る7,152ha分の変更処理を行った。
- ・新規保安林指定箇所を周知するため、保安林標識を109本、93箇所へ設置した。

②林地における無秩序な開発の防止の徹底

太陽光発電設備関係の開発について他所管条例の研修会を実施し、他部署との連携を強めた。

8 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標	内容	R5年度推移	R6年度推移	達成状況	達成
指標①	保安林の指定施業要件の変更箇所の面積			↘	達成
事務担当者の研修や会議等での周知を図る等の取組により、保安林の指定及び指定施業要件の変更を進め、目標を4割上回り達成することができた。					
指標②	林地開発許可制度に係る違反行為に対する監督処分件数			↗	達成
違反行為が確認された場合にはまずは行政指導により違反行為の是正を求めるとしており、改善が確認された場合は監督処分に至らないことから達成することができた。					

9 今後の事業の方向性

(1) 上記7、8及び県民の意見等を踏まえた課題

保安林の適正な管理に資するため、旧基準で制定された保安林の施業要件を緩和する変更事務を進めることが重要。令和6年度末時点の進捗率は約60%であり、全面積の施業要件を変更するには長期の時間を要する（令和6年度末時点：約60%（86,548ha/145,156 ha））。

(2) 事業改善の方策

現地からの要請の把握に努め、間伐等の施業計画のある保安林や大面積の水源林について優先的に指定施業要件の変更を進める。
引き続き市町村・関係部局と情報を密に共有しながら林地開発調査を行い、早期に違法開発を発見適正な指導を行う。

事業名	森林の適正管理及び保全に関する事業	部局	林務部	課・室	森林づくり推進課
-----	-------------------	----	-----	-----	----------

細事業No.	細事業名	R4年度決算額	R5年度決算額	R6年度決算額
1	保安林整備受託事業費	18,293 千円	24,739 千円	16,393 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	保安林指定・解除調査	直接	1号から3号の保安林の指定及び解除に係る会計年度任用職員の雇用、境界確認、林況調査、所有者への通知 会計年度任用職員を延べ48ヵ月雇用、保安林の指定650ha実施	
2	保安林適正管理調査	直接	保安林管理図の作成、新規指定された保安林の図面情報の電子化 保安林管理図4図作成、新規指定保安林の電子化36件実施	
3	保安林損失補償金	直接	1号から3号保安林における立木の伐採制限に対する利子相当分の補償 損失補償件数35件実施	
4	保安林整備推進事業	直接	1号から3号の保安林における指定施業要件の変更に係る会計年度任用職員の雇用、境界確認、所有者への通知 会計年度任用職員を延べ37ヵ月雇用、指定施業要件の変更7,152ha実施	

細事業No.	細事業名	R4年度決算額	R5年度決算額	R6年度決算額
2	保安林整備管理事業費	5,344 千円	5,594 千円	10,595 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	保安林指定・解除等調査	直接	4号以下の保安林における指定、解除、指定施業要件の変更に係る会計年度任用職員の雇用、境界確認、林況調査、所有者への通知 会計年度任用職員を延べ21ヵ月雇用、保安林の指定等の調査36箇所実施	
2	保安林管理業務	直接	保安林標識の購入と設置補助、会計年度任用職員の雇用、台帳整備 保安林標識109本を設置、会計年度任用職員を延べ4ヵ月雇用	
3	保安林損失補償金	直接	4号以下の保安林における立木の伐採制限に対する利子相当分の補償 損失補償件数18件	
4	保安林関係業務集約事業	直接	保安林及び林地開発許可事務の一部を集約するにあたり、業務の取りまとめ及び保安林台帳管理システムの保守・点検を委託する システム保守業務1式	

細事業No.	細事業名	R4年度決算額	R5年度決算額	R6年度決算額
3	保安林適正管理事業	7,205 千円	7,150 千円	6,622 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	保安林適正管理事業	委託	保安林損失補償の対象となり得る既指定地について、航空レーザ測量を活用し、保安林の林況、治山施設の有無、資源成長量の推測等の調査により、補償額の再調査を行う 再調査136件	

細事業 No.	細事業名	R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
4	林地開発許可制度実施費	198 千円	825 千円	50 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	林地開発許可制度等実施事業	直接	開発許可調査、測量、審査、許可条件履行調査、指導等、森林審議会の開催 森林審議会 1 回開催	